



第102号 2024年 6月 1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <https://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

神山復生病院創立 135 年を迎えて

事務局長 シスター徳永美智子

1889年、駿東郡富士岡村大字神山字平石の地に一粒の麦が落とされました。
フランスから日本へ宣教師として派遣されたカトリック司祭テストウイドが1883年に一人の病者と
出会ってから、その一粒の麦の種が大きく穂を出し、現在の復生病院を創り上げていきます。1889
年から1930年の41年間をフランス人の司祭5名によって院長職が引きつがれ、その後、1930
年から1940年を岩下壮一神父、1941年から1947年を千葉大樹神父が院長職を。1947年
から2008年の長きにわたりキリスト・ロア宣教修道女会の修道女が院長職に携わってきました。1
978年から30年間を皮膚科の医師であり院長職を務めたシスター湯川 智から一般の医師に院長職
が引き継がれ現在に至っています。

2024年5月16日に創立135年と生誕135年を迎えた第6代目の院長岩下壮一神父の記念ミ
サと祝賀会を横浜カトリック教区の梅村昌弘司教様とともに迎えました。

この135年の歴史の中でハンセン病の方たちとともに過ごしていただいた歴代の院長と職員の皆様に
感謝を申し上げます。2002年に外来、療養病棟とホスピス病棟を開設し、その後、療養病棟を介護
医療院へ転換、小規模多機能型居宅介護事業所、訪問看護ステーション、在宅療養支援診療所を立ち上
げました。神山復生病院がこの長い歴史の中で多くの恩人方に支えられて歩んでこられたことは、病院
の理念である「キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も神によって創られた人間とし
て・・・」という祈りの言葉が、一粒の麦として職員の心に蒔かれ、その実りが皆様の心の琴線に触れた
結果だと思います。

135年を迎え、病院が今後どのような歴史を歩いていくのか・・・。地域の皆様に支えられながら、
末永く愛される病院でありますようにと祈る日々です。

尚、記念館別館で「岩下壮一展」を約一年間開催いたしますので是非いらしてください。

参考：「一粒の麦が地に落ちて死ねば多くの実を結ぶ」はヨハネ福音書 12章4節に記載されていま
す。



神山復生病院創立 135 年記念行事

創立 135 年・岩下壮一神父生誕 135 年の感謝のミサ

神山復生病院は、皆様ご存じのようにカトリックの病院です。教皇フランシスコを頂点に世界中にカトリック信徒が生活をしています。日本には北海道から沖縄に至る各地に 16 の教区がありますが、神山復生病院は横浜教区に所属しています。

135 年の長い歴史を 5 月 16 日に創立記念日として、多くの方々のご尽力によりこの日をむかえることが出来ました。当日、横浜教区長 梅村昌弘司教様、パリ外国宣教会のミシェル・ゴーチエ神父様、御殿場カトリック教会の金 允福神父様、横浜教区副事務局長の谷脇慎太郎神父様の 4 名の神父様方によるミサ聖祭が行われました。

135 年間に多くの患者さんと職員がこの病院で過ごされ、涙と笑いの時を共にいたしました。多くの恩人の皆様に感謝を申し上げます。当日、来賓の方々と在院者、職員の参加により、感謝のミサ聖祭が進められ、135 年にいただいた恵みと歴史を感じるひと時でした。また、最後に「土井晩翠作曲、大塚 敏作詞の復生病院院歌」を声高らかに歌い、135 年記念式典の幕開けとなりました。



祝賀会

手作りの祝賀会・・復生病院らしい祝賀会でした。会場は病院 2 階の会議室。梅村司教様、神父様方、来賓の方々、職員で会場は座る椅子が足りないほどの方にお集まりいただきました。最初に来賓者の紹介、広瀬理事長からの挨拶、祝賀会の前日に司教叙階 25 周年を迎えられた司教様へのプレゼント贈呈。司教様から在院者お二人へのお祝いの品の贈呈。来賓の方々を代表しての司教様の挨拶と続けました。その後、永年勤続者の表彰式があり、勤続 30 年以上の方 4 名、20 年以上の方 11 名、10 年以上の方 22 名にそれぞれ感謝状とお祝いが贈られました。永年勤続者の皆様、長い間復生病院を支えて下さり本当にありがとうございました。その後、歓談の場が設けられ、談笑の輪が広がっていきました。最後に江藤病院長より感謝の言葉が述べられ閉会になりました。和気あいあいとした祝賀会で、復生病院らしい暖かな会だったと思いました。引き出物として来賓の皆様には復生病院で取れた新茶をお持帰りいただきました。お茶を飲まれるごとに復生病院を思い出していただきたいと思います。参加していただいた皆様に感謝を申し上げます。



↑ 勤続 30 年以上の皆さん
← 在院者さんたちと





神山復生病院創立 135 年記念 岩下壮一神父特別展

神山復生病院が創立した 1889 年（明治 22 年）の 9 月 18 日に 6 代目院長岩下壮一神父は誕生しました。病院開設と同じ年に生まれた岩下壮一神父も生誕 135 年を迎えます。そこで病院創立 135 年の記念行事として岩下壮一神父特別展を開催することになりました。



岩下壮一神父の紹介

明治以降の日本カトリックを代表する神学者・哲学者・思想家です。

1925 年欧州ベネチアにて叙階。1930 年神山復生病院 6 代院長に就任。それまでの信仰を主とした対治策ではなく、医術と信仰を両立させ病院を発展させました。患者からは親しみを込め「親父」と呼ばれていました。病院の業務の他、御殿場と東京を行き来し、出版活動、神学校での講義など超多忙で過酷な日々を送りました。

1940 年院長を辞任、理事長となります。当時の興亜院より要請を受け、中国視察中に病を得て帰国。12 月 3 日復生病院にて帰天しました。（享年 51 歳）

病院創立 135 年の記念ミサの後、お越しの皆様特別展をご覧いただきました。

神山復生病院に残された、写真や書籍などの資料から、神父の生涯と神山復生病院や日本のカトリックに果たした役割を紹介しています。展示してある書籍は実際にご覧いただける物もあります。また岩下神父が昭和 9 年に制作した映画『神山復生病院実況』も上映しています。生き生きと生活している患者さんたちの中に岩下神父の姿も見ることができます。

令和 7 年の 3 月まで開催していますので、多くの皆様にお越しいただきたいと願っております。



岩下神父が制作した映画
「神山復生病院実況」



年譜と写真など



岩下家の展示



学芸員の展示の説明

今回のおすすめ

『お結びやぶう』



御殿場市神山 774-1

古民家をリノベーションしたカフェです。

復生病院から徒歩でも行ける距離、神山小学校の近くにあります。

おすすめは、ぶうぶう定食でおにぎり 3 個と味噌汁、小鉢 4 点とデザートの日替り定食です。おにぎりはふかふかで食べ応えがありますが、おいしいのでぺろりとはいけちゃいます。テラス席もあり、ほのぼのとした景色を眺めながらゆっくりするのもいいですよ。

紹介者（介護医療院） 高橋美由記

こちらはティクアウトのお弁当



外 来 担 当 表

緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(中原)	内科(北村) 皮膚科 (宗田)	休 診	内科(江藤)	内科(若杉)	内科 (第 1. 3. 4 中尾) (第 2. 5 岡部) 皮膚科	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	休 診	休 診	休 診	

特定検診・带状疱疹ワクチンの接種の予約を承っております。

皮膚科外来予定表

7月以降の診察はHPにてお知らせいたします。
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。



宗田昂己 医師	6月 4日(火)・11日(火)・18日(火)・25日(火)
太田有史 医師	6月 1日(土)
北田裕樹 医師	6月 8日(土)
太田真由美医師	6月15日(土)
福地 修 医師	6月22日(土)
生玉梨紗 医師	6月29日(土)

皮膚科外来は、毎週火曜日と土曜日の午前に行っています。



带状疱疹ワクチン予防接種のお知らせ

带状疱疹は、水疱瘡のウィルスが原因で起き、加齢などによる免疫力の低下が発症のきっかけになります。ワクチンを接種することで発症予防・重症化予防が期待されます。

御殿場市・小山町に住民登録のある50歳以上の方は、申請手続きをするとワクチン費用の助成が受けられます。

当院では1回接種の生ワクチン(ビケン)・2回接種の不活化ワクチン(シングリックス)のどちらの接種も可能です。

助成金を使用すると自己負担は、生ワクチン4,300円、不活化ワクチンの接種は2回となりますので、22,000円の自己負担となります。

予防接種ご希望の方は予約が必要となります。ご質問等お問い合わせください。

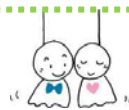
問い合わせ先：(0550) 87-0004



編集後記

いよいよ梅雨の季節がやってきましたね。
今年の梅雨はどのくらいの雨が降るのでしょうか。

ジメジメして嫌だなあ、と思いますが私は復生病院の紫陽花が綺麗に咲くのが楽しみです。
皆様もぜひ、見に来てください。



次回号もお楽しみに。

